



# 少林寺たより

しょうりんじ たより たくりゅう

# 澤龍

No.21

令和4年 正月号



令和3年12月1～7日 「地域を明るくしよう」プロジェクト



## 謹賀新年

旧年中のご厚情に深く感謝申し上げます

疫病退散と福寿円満をご祈念申し上げます

「コロナ禍において、差別や偏見にデマが広がり、相手を攻撃し追い込み、人の尊厳が奪われ、人間関係に悩む方が多くいます。

一方的な誹謗中傷、戦争、日常の喧嘩など、私たちの身のまわりから争いやトラブルが絶えない日々です。強い正義感は、時に人を傷つけることがあります。正義の反対は別の正義というように、互いの正義があります。

人は利他により救われ、人のために生きること、生き甲斐や喜びが生まれるのではないのでしょうか。共に笑い合える社会を…。

住職 清涼晃輝 合掌

## 令和四年 年回表

一周忌	令和三年
三回忌	令和二年
七回忌	平成二十八年
十三回忌	平成二十二年
十七回忌	平成十八年
二十三回忌	平成十二年
二十五回忌	平成十年
二十七回忌	平成八年
三十三回忌	平成二年
三十七回忌	昭和六十一年
四十三回忌	昭和五十五年
四十七回忌	昭和五十一年
五十回忌	昭和四十八年

今があるのはご先祖様のお陰

なむなむのんのんさま

十二月一日〜七日、大井西地区有志・喬松小学校・少林寺の共同開催で、大井西地区イルミネーション・シヨク・境内を彩る光の祭典〜少林寺を会場に、普段お世話になっている地域の皆様に、少しでもホツとして頂きたいという思いで、開催致しました。

十一月三十日には、喬松小学校一・二年生十二名が準備。十二月八日には、五年生九名が片付け。寺総代、有志の方々と共に行ないました。

竹灯籠の絵は、喬松小学校全児童四十九名が二枚ずつ描いてくれました。LED、花蠟燭、竹灯籠、ポトルアートなど冬の境内が温かい空間となりました。



## 仏の智慧に学ぶ

### 慈悲喜捨 (じひきしゃ)

慈…慈しみ恵みを与える

悲…寄り添い苦しみを取り去る

喜…他者にも自分にも素直に喜ぶ

捨…我欲を捨てた思いやりの心

生きとし生けるものに、恵みを与え、苦を取り抜き、ねたまず、好き嫌いで差別しない。「四無量心」ともいい、四つの測り知ることの出来ない利他の心を無量に発して、人々を安楽に導くことで、幸福になるという釈尊の教えです。

岡山県瀬戸内市にある長島愛生園はハンセン病の国立療養所で、今年で開園九十二年を迎えます。ハンセン病は、国の誤った政策により強制隔離が行なわれ、社会から患者や家族に親族までもが、想像を絶する差別や偏見を受けました。長い間生きる権利を奪われ苦

しみ、未だに根強い差別や偏見は解消されていません。

長島愛生園自治会長・中尾伸治氏は、「社会の中から未だに差別を受ける。現実、故郷にお骨が帰れない。名前を変えている人が多い。家族に迷惑をかけるないように、自分はハンセン病だと言えない入所者もいる。みんなが助け合い、一緒に生活出来るようになって欲しい。コロナ禍で起こる人権侵害は、私たちの時と同じことが繰り返されたことに戸惑いがある。強い者がいて、弱い者がいつも排除される。いつまでも変わらない。残念だ。」と言われます。

元ハンセン病患者団体会長・神美知宏氏は、「加害者は国、被害者は私たち、傍観者は一般市民、加害者があれば被害者があり、それを見て見ぬふりをする、それもやはり差別者ではないでしょうか。」と言われます。

いかなる問題も一人一人が感心を持ち、正しい理解を得て、自分勝手な心を捨て、慈悲の心で勤めましょう。すると慈悲心が育ち、偏った心は取り除かれ、慈悲の喜びに満たされるでしょう。

## 澤ちゃんの仏教仏事Q&A



### お寺への包み袋は 何と書けばよいの？

まずは、誰に(お寺・住職)何のために(慶事・弔事)、気持ちを書き込むのかをよく確認致しましょう。

書き方

・御年賀…お正月の挨拶・御供

・御供…ご本尊様やご先祖様への御供

・御礼…謝礼

・寄附・寄進…金銭や品物の寄贈

・御香料…お香にかえてのお気持ち

・御布施…僧侶に施す。お気持ち

水引

・慶事…赤白。

・弔事…白黒。双銀。忌明け降は黄白

(地域の習慣があります)

・通年…白(御布施・寄付など)

お気持ちを書き込み・水引・文字に表します。包み袋を渡すときには、お盆にのせて相手に向けて捧げましょう。

# 偏見や差別をなくしていくために

## ～無明の自覚と慈悲の実践～



なぜ人は、偏見を持ち、差別をするのでしょうか？



人は誰もが[無明]だから。  
過ちに気付かないから偏見を持ち差別は起こるのだよ。  
相手のことより、まずは自分の問題として考え、事実を  
正しく理解しよう。

※無明（むみょう）…無知で愚か。過ちや誤りに気づかず全てわかったつもりでいる心。



確かに、自分の心に手をあて考えてみると、わがままな自分が思い当たります。



自分の[無明]を認め[布薩]と[懺悔]をして自分の行いを悔い  
改めることだね。  
「無明こそ最大の汚れである。修行僧らよ。この汚れを捨てて  
汚れ無き者となれ。」お釈迦様はお示しになりました。  
(ブッダの真理の言葉243中村元 訳)

※布薩（ふさつ）…自分の行為を振り返る。※懺悔（さんげ）…自分の罪や過ちを悔い改める。



偏見や差別をなくす方法がありますか？



[無明の自覚と慈悲の実践]だよ。  
[無明]愚かさがゆえに、自我を捨て素直な[慈悲]の心で相手に接すると  
慈悲の光明で無明の闇は消滅し、差別の心は消えていきます。

※慈悲（じひ）…助けたい、救いたい気持ち。相手に恵みを与えること。思いやり。



どのように、相手に接したらよいのでしょうか？



誠意をもち丁寧に接することだね。  
難癖つけず違いを尊重し、まずは肯定してみよう。  
お互いの笑顔を考えよう。



嫌いな人や腹が立つ時は、どうすればよいのでしょうか？



まずは、一呼吸おいてみよう。  
さらに一呼吸・・・、坐禅をすると心が落ち着くよ。  
たった一つの掛け替えのない尊い命。  
相手の心の声をよく聴き、忍耐強く柔軟に考えてみよう。  
どんな相手でも、よく観察すると「よさ」がみえてくるよ。



慈悲の特効薬はあるのでしょうか？



「ごめんね」…懺悔 「ありがとう」…感謝 「助かったよ」…利他  
「うれしいよ」…同時 「どうぞ」…布施 「あなたには、〇〇の  
力(よさ・能力・才能)があるね。」…信頼  
慈愛の言葉と笑顔で、たくさん褒め称えと、心が栄養満点になるよ。



どうすれば、明るい社会になりますか？



[中道] 偏り過ぎず丁度いい加減がいいね。  
社会に役立つ利他のご縁はとっても楽しいよ。  
無明の自覚と慈悲の実践で、一緒に笑顔の輪で  
明るい社会をつくりましょう。

## 孟蘭盆大施食会

八月十八日、恒例の孟蘭盆大施食会を開催致しました。昨年同様に感染症対策で、堂内には初盆遺族、総代、寺院の計十四名。堂外や事前参拝で百名以上の参列者にご焼香を頂きました。



## 禅道場体験

八月二十三日、第十回禅道場体験を四名の子どもたち参加のもと開催致しました。読経、坐禅、法話、写経など半日間、熱心に修行致しました。



## 護持会

清掃奉仕活動

七月十一日 役員 二十七名

十二月十九日 役員 二十五名

東参道 水路改修工事

四月～五月にかけて、久米建設による施工で、農道から少林寺参道までの約五十メートル区間、素掘り水路にU字溝を設置し、水路改修を致しました。

△改修箇所 写真右側▽

← 改修前



← 改修後



## 婦人会

清掃奉仕活動

七月十一日 中北下地区 二十五名

八月十七日 大雨のため中止

十二月十九日 中北上地区 三十名

## 特別寄附

一、キャタツ

田丸史殿

一、絵

山下芳泉 作

政安敏章 殿

一、絵本

かぜのでんわ

いもとようこ作絵

永田紀久江 殿



## お話し聞きます

悩んでいる方

落ち込んでいる方

寂しさを感じている方

つらい方

私でよろしければ

お話し聴かせてください。



電話 0868-57-2303

電話 080-6351-9686

メール info@shorinzenji.com

## お知らせ

本紙をもって賀状と致します

また服喪中の方へご挨拶と致します

本紙をご遠方にお住まいのご子息やご親戚に発送させて頂きます。一緒にお寺とのご縁を繋げていきましょう。

お気軽にお声がけください。

## 住職のつぶやき

▼千四百年程前、奈良で聖徳太子が排仏派との戦いで祈願すると、毘沙門天を感得され、勝つ秘法を授かったという。「信ずべし貴ぶべし山」として信貴山（しぎさん）と命名し、毘沙門天を祀ったという。これは、寅の年、寅の日、寅の刻であったとして、寅の縁日に参拝すると、ご利益がある「世界一福寅」として信仰されている。「口ナを見定め、虎視眈々と参拝旅行を計画中」...

▼寅年の守護仏は、虚空蔵菩薩。子「千手観音」、丑・寅「虚空蔵菩薩」、卯「文殊菩薩」、辰・巳「普賢菩薩」、午「勢至菩薩」、未・申「大日如来」、酉「不動明王」、戌・亥「阿弥陀如来」。生まれながら、仏様に護られる。いつも仏様がみているよ。

▼ある研修会でボランティアとは何かという質問があった。講師のお答えは「お手伝い」であった。見て見ぬ振り×お節介×相手の意向に寄り添った「エエ あんばい」（よい加減）じゃなあ。

# 令和4年 行事予定

覚禅会 毎月第2土曜 9時～坐禅 10時～写経

1月～6月予定

1月8日 2月12日 3月12日 4月9日 5月6日(金) 6月11日

- ・参加費無料。坐禅と写経の二部制で、一方のみ参加可能です。
- ・足の不自由な方は、椅子に座り足を組まずに出来ます。
- ・写経は、机・椅子・道具があります。使い慣れた道具があればご持参下さい。
- ・檀家などは問いませんので、どなた様もお気軽にお越し下さい。
- ・個別の日程は要相談。個人・団体など出張で坐禅会・写経会・法話会などを致します。
- ・急な日程変更がありますので、事前にご確認頂けますと幸いです。

## 修正会

元日～3日(随時受付) 厄払いなど新年のご祈禱をします

## 婦人会清掃活動

3月13日(日)9時～ 坪井下地区

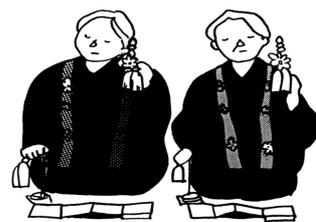
総供養会 春彼岸中日

3月21日(月)10時～

## 御詠歌 講員募集中

毎月2回 各回2時間(休憩あり) 参加費1,500円

講師 源福寺住職 小谷典尚 先生



曹洞宗 澤龍山 少林寺

TEL 0868-57-2303

TEL 080-6351-9686

〒709-4606 岡山県津山市中北上1150

メール info@shorinzenji.com



ホームページ



フェイスブック

ホームページ <http://www.shorinzenji.com>

フェイスブック <https://www.facebook.com/shorinzenji>

晃輝和尚のブログ「覚禅堂」 <https://ameblo.jp/seiryō-koki>



ブログ